

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	学習方法の工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

校 種	種 目	第 1 推 薦	第 2 推 薦
小学校	書写	38 光村	2 東書

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	「どうすれば整って見えるかな」のように、児童に投げかけ考えさせる表記で目標を示している。
	観点 2	書写で学習したことを生活の中で生かせるように、他教科のノート例を全学年で示している。(1 学年算, 2 学年算, 3 学年理, 4 学年国, 5 学年家, 6 学年社)
	観点 3	1 年間の学習が一覧できるように「学習のまとめ」がある。
	観点 4	黒の墨の手本と同じページに穂先の動きが分かる朱と白の混ざった墨で書いた字を掲載している。
	観点 5	「生活に広げよう」コーナーを設けて、手紙・新聞・カードの書き方を示している。
11 学図	観点 1	全学年に「学習に生かそう」ページを設け、「観察カードを書こう」(1 学年)「プログラムの書き方」(4 学年)など他教科への活用を図っている。
	観点 2	身に付けた書写力を活用する実用場面の例を数多く示している。「メッセージ」(5 学年)、「お知らせ」(6 学年)など
	観点 3	全学年とも、実際に書き込むスペースがたくさんある。低学年の硬筆教材数が多い。
	観点 4	1 学年のひらがな練習では、4 つの部屋を意識させるよう、毎ページに 4 つの部屋をつけている。
	観点 5	「しりょう」コーナーを設けて、手紙・新聞などのお手本を示している。
15 三省堂	観点 1	高学年では、まず硬筆で書き、毛筆で確かめるように、硬筆と毛筆を関連させた目標をあげている。
	観点 2	身に付けた書写力を生活に生かす具体例を全学年で示している。「絵手紙」(4 学年)、「メッセージ」(6 学年)など
	観点 3	全学年とも、硬筆記入欄のページ数が多い。

	観点4	中学年では、単元のはじめに「ほ先はいつも左はし」「左と右がゆずり合う」などキャッチフレーズのようなめあての書き方をしている。
	観点5	「ひろげよう」コーナーを設けて、新聞やレポートの書き方を示している。
17 教出	観点1	書写の歴史に関する記述や伝統的な言語文化に関する内容を全学年に掲載している。
	観点2	巻頭折込ページで、興味ある事柄を紹介している。「学校の文字探検」(1学年)、「日本の文字の歴史」(6学年)など
	観点3	全学年に横書き練習教材を設定している。
	観点4	毛筆の入門期の執筆法や用具の扱い方の資料が豊富で、墨滴の扱い方も写真で示している。
	観点5	「書いて伝えよう」では、新聞の書き方のモデルを紹介している。
38 光村	観点1	各単元の冒頭で「筆使いを確かめよう」等、単元の目標を示し、続いて「～に気をつけて～しよう。」と、具体的な観点を示している。
	観点2	国語教科書と連動して一体的に扱える教材を各学年1つずつ設定している。
	観点3	学習したことを生活に生かすように配列している。
		硬筆記入欄のページが多い。
	観点4	筆使いについてイラストを用いて穂先の動きや筆圧を示している。
観点5	「しりょう」コーナーを設けて、はがき・手紙・新聞などの書き方についてポイントを示している。	
116 日文	観点1	伝統と文化に関する内容は主に3学年以上で扱われており、ことわざや俳句、古文、いろは歌、故事成語など、さまざまなジャンルのものを掲載している。
	観点2	全学年に「もっと書こう」のコーナーを設け、学習場面で書写力を活用する例を示している。「けん玉の作り方をせつめいする文を書こう」(2学年)など
	観点3	総ページ数が多い。
	観点4	1学年で鉛筆の持ち方だけではなくフェルトペンの持ち方も写真で示している。
	観点5	「広がる学び」コーナーを設けて、はがき・手紙・新聞などの書き方についてポイントを示している。